



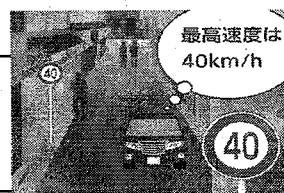
生活道路における自動車の法定 速度が引き下げられます! 60 → 30 km/h

生活道路とは、主に地域住民の日常生活に利用される、中央線や中央分離帯などがない比較的狭い道路のことです。

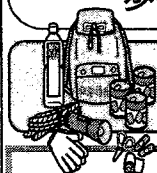
9月1日から、これらの道路における自動車の法定速度が30km/hになります。

注
意
点

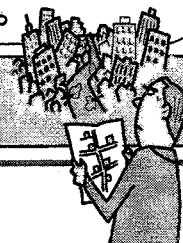
中央線などがない道路であっても、速度規制標識が設置されていれば最高速度は標識のとおりです。



歩行者、自転車を守ることに繋がります。安全な速度での運転をお願いします。



8月30日～9月5日は「防災週間」



防災の備え、「知っている」から「できる」へ

- 身近な災害を知る
お住まいの場所、職場、学校などで予想される災害を、市町村で作成される「防災マップ」や「ハザードマップポータルサイト」で確認しましょう。
- 身を守るために～日頃の備え～
災害に備え「いつ、誰が、何をするか」を事前に家族で検討してください。
災害時に危険な「家具の固定」や、「非常食」の準備、避難するときを持つていく「防災バッグ」「医療品」などの準備が大切です。



夏期の水難防止



水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。

特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの水難が後を絶ちません。

過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する水難が発生しています。また県外の海で遊泳中に溺水する水難も発生しています。

「水」に対する危険性について、家族や仲間と話し合い、地域全体で改めて危険個所を点検するとともに、魚釣りや水遊びの際には、ライフジャケットを着用するなど、必要な安全対策を進めましょう。



松本警察署

令和8年8月号



「電話でお金詐欺」撃退通信

長野県警シンボルマスコット「ライボくん ライビィちゃん」

被害額が爆増！？ 電話対策で詐欺をシャットアウト

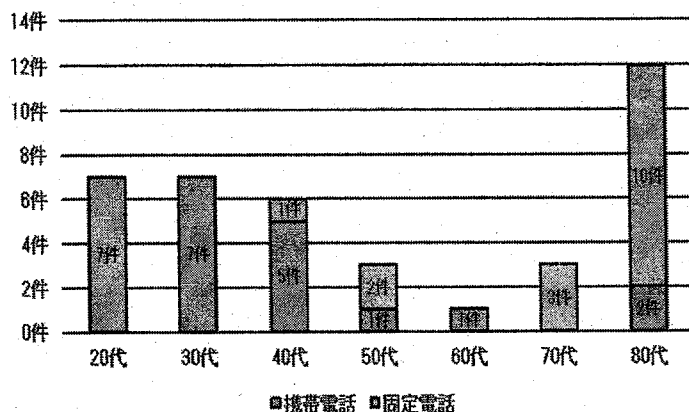
被害額の増加が顕著

長野県内における5月末までの二セ警察詐欺の被害は39件（前年同期比－5件）、被害額4億7,683万円（前年同期比＋1億9,320万円）であり、被害件数は減少しているものの、被害額は大幅に増加しており、1件当たりの被害額は1,222万円（前年同期比＋578万円）と増加が顕著になっています。

50代以下は携帯電話、50代以上は固定電話の傾向が顕著

長野県内で5月末までに認知した二セ警察詐欺における犯人からの接触方法は、全て電話であり、20代から40代は携帯電話への接触が19件（95.0%）50代以上は固定電話が16件（84.2%）を占め、40代と50代を境に、接触方法が入れ替わる傾向にあります。

接触方法の年代別内訳



だまされないための対策

警察庁推奨アプリ

ダウンロードはこちら



警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ

○ 詐欺の電話はアプリでブロック!!

携帯電話に詐欺の犯人から電話がかかってくるケースが急増しています。

→犯人からの電話を直接受けないためには、犯人が使う国際電話番号などをアプリでブロックする対策が有効です。

○ 固定電話の場合は、国際電話不取扱受付センターに国際電話利用休止の申込みをしましょう。

最新の手口や、発生状況を知り、詐欺を見破りましょう！
長野県警察安全・安心アプリ「ライポリス」では、最新の詐欺被害発生状況や防犯対策を知ることができます！！

インストールはこちら→



長野県松本警察署 0263-25-0110